

すみよしぶらく じんけん しきじ
住吉部落における人権のまちづくりと識字

フィールドワーク

ぶらく しきじ きょういく ふくし しっせん まな
一部落の識字、まちづくり、教育・福祉の実践に学ぶ

ていいん めい
定員50名

ようじせんもうしこみ
要事前申込！

きそききょういくほししょうがっかいだいいかいけんきゅうたいかい
基礎教育保障学会第2回研究大会

■日時 2017年9月2日(土) 13:30~16:30

■集合場所「すみよし隣保館 寿」(住吉隣保事業推進センター)

なんかいこうやせんすみよしひがしえきひがしでくち きた はんかうえまちせんかみのきえき みなみでくち みなみ
(南海高野線 住吉東駅東出口から北へ100m / 阪上上町線 神ノ木駅 南出口から南へ200m)

■参加費 1,000円(当日に集めます)



すみよし隣保館 寿



旧市民交流センターすみよし北



体育館東側の壁画

この度、基礎教育保障学会第2回研究大会では、大阪市の南部に位置する被差別部落、住吉地区

のフィールドワークを企画しました。この住吉地区では、1966年から「住吉輪読会」という識字学級

が開かれ、現在まで50年にわたって、その取り組みが続けられてきています。また1960年に設置さ

れた「住吉隣保館」を拠点として、住民自身による「人権のまちづくり」の活動が活発に展開され

てきました。識字・日本語教室や子どもたちの自主学習支援、若者の仕事保障や高齢者・障がい

者のための福祉事業など、現在も多彩な取り組みが、地域住民自らの努力によって進められていま

す。本フィールドワークでは、これまでの運動の歴史と伝統を大切にしながら、新たな取り組みに

果敢に挑戦する住吉地区の識字・基礎教育保障の実践に深く学びたいと思います。

■申込方法 (Eメールから)

8月15日までに、件名を「フィールドワーク 申込」とし、taikai@jasbel.orgまで

①名前、②所属、③連絡先(電話番号)を記入のうえ、メール送信してください。

定員は50名です。申込先着順で、定員に達し次第、募集を締め切ります。

フィールドワーク プログラム

13:00~ ^{うけつけかいし} 受付開始 (会場: ^{かいじょう} すみよし ^{りんぼかん} 隣保館 ^{ことぶき} 寿)

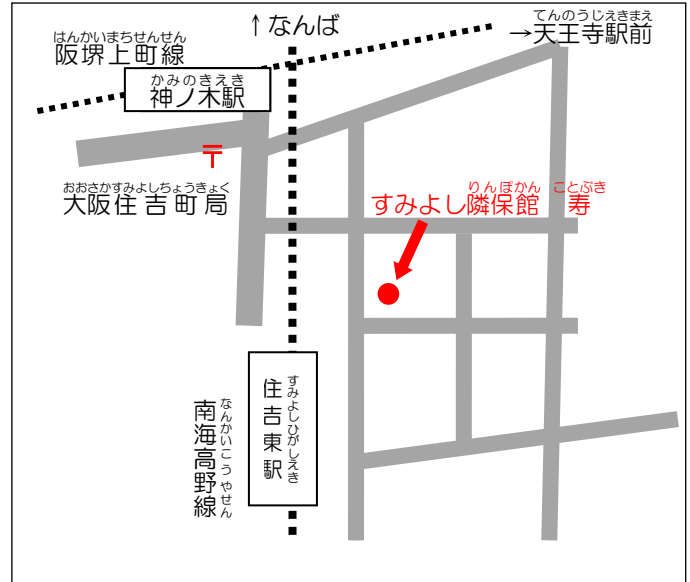
13:30~ ^{すみよしぶらく} レクチャー「住吉部落における ^{じんけん} 人権のまちづくりと ^{しきじ} 識字」

^{ともながけんご} 友永健吾さん (公益財団法人 ^{すみよしりんぼじぎょうすいしんきょうかい} 住吉隣保事業推進協会)

14:30~ ^{すみよしちく} 住吉地区をフィールドワーク

15:30~ ^{えいぞうしちょう} 映像視聴・^{しつぎおうとう} 質疑応答など

16:30 ^{しゅうりょう} 終了



会場: ^{かいじょう} すみよし ^{りんぼかん} 隣保館 ^{ことぶき} 寿



1978年に完成したこの壁画は、当時住吉地区に住んでいた沖縄出身の彫刻家、

金城実さんと住吉地区の住民が共同して、当時の仕事や差別の実態を次の世代に

伝えようという目的のもとに製作されました。

【お問い合わせ】 ^{とあ} 基礎教育保障学会研究大会委員会

^{でんし} 電子メール taikai@jasbel.org